

〔記入上の方法〕

I.

- 1 標題は被保険者が出産した時は、「被保険者」を家族が出産した時は「家族」を○で囲んでください。
- 2 ⑧欄の出産した場所は、出産した病院、診療所又は助産所などの医療施設名を記入してください。
- 3 ⑨欄は、被保険者(本人)の出産育児一時金の請求である時は、斜線で抹消してください。
- 4 ⑩、⑪の欄には、出生時が複数のときは、それぞれの氏名、生年月日を記入してください。
- 5 ⑭欄には、他の医療保険制度から既に出産育児一時金、家族出産育児一時金を受けているときは、その旨を記入してください。
- 6 ⑮欄は、被保険者(本人)が直接受領するときに、被保険者の希望する振込金融機関名を記入してください。
- 7 ⑯欄には、被保険者の資格を喪失した後の出産であるときは、資格喪失年月日を、生産であったが、間もなく死亡したときは「出生時は、〇〇時間生存した後死亡」などのことを記入してください。
- 8 ⑰欄の「出産育児一時金(家族出産育児一時金)・出産育児一時金付加金(家族出産育児一時金付加金)」の文字で不要のものは抹消してください。
- 9 請求した給付の金額について受領を委任する場合であっても⑰欄に受領委任した金額を記入してください。
- 10 ⑱欄は委任により代理受領するときは、代理人の希望する振込金融機関名を記入してください。
- 11 医師または助産師の証明が外国語で作成されているときは、日本語の翻訳分(翻訳者の氏名、住所等を記載したもの)を添付してください。
- 12 ⑲欄は、被保険者(本人)が直接健康保険組合の窓口で受領するときに記入してください。

II. 医師、助産師又

- ⑳欄は、該当する文字を○印で囲み、死産の場合は、妊娠第〇月又は第〇週であったかを記入してください。

